

## 平成 24 年度 第 10 回治験審査委員会開催記録の概要

1. 開催年月日 平成 25 年 1 月 9 日 (水) 17:40~19:00
2. 開催場所 2 階応接室
3. 出席者 根来臨床試験管理室長、坂上管理局長、富永診療部長、松井総務部長、奥川薬剤部長、辻本薬剤部次長、松尾検査技師長、浜田弁護士 (外部委員)
4. 審議事項 出席者数により治験審査委員会の成立が確認された後、順次申請事項について審議された。

### (1) 審議案件

#### 【新規・変更・その他】

- ① 研究名：ノバルティスファーマ(株)依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした LDK378A2201 の第Ⅱ相試験
  - ・ 審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：修正の上承認
- ② 研究名：ノバルティスファーマ(株)依頼による非小細胞肺癌患者を対象とした LDK378A2203 の第Ⅱ相試験
  - ・ 審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：修正の上承認
- ③ 研究名：肺癌患者を対象とした第Ⅱ相試験 (医師主導治験)
  - ・ 審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認
- ④ 研究名：日本ベーリンガーインゲルハイム(株)の依頼による転移・再発頭頸部扁平上皮癌患者を対象とした BIBW2992 とメトトレキサートの有効性及び安全性を比較するランダム化、オープンラベル第Ⅲ相試験
  - ・ 審議内容：治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：修正の上承認
- ⑤ 研究名：ファイザー(株)の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象として PF-02341066 を投与した場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第 2 相試験
  - ・ 審議内容：治験実施計画書国内実施体制の変更 (治験期間の延長を含む) と「IMPORTANT INFORMATION-WITHDRAWAL OF PROFLE 1007 AMENDMENT 12」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
  - ・ 判定：承認

※会議の成立要員を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑥研究名：ファイザー㈱の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌(NSCLC)患者を対象として PF-02341066 と標準的  
化学療法剤(ペメトレキセドまたはドセタキセル)を比較し、その有効性と安全性を  
評価する無作為化、非盲検第3相試験

・審議内容：治験実施計画書国内実施体制の変更（治験期間の延長を含む）と「IMPORTANT  
INFORMATION-WITHDRAWAL OF PROFLE 1007 AMENDMENT 12」に基づ  
き、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

※会議の成立要件を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑦研究名：ファイザー㈱の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または  
逆位を有する肺癌における未治療の非扁平上皮癌患者を対象として CRIZOTINIB  
とペメトレキセド/シスプラチンまたはペメトレキセド/カルボプラチンを比較  
し、その有効性と安全性を評価する無作為化、非盲検第3相試験

・審議内容：治験実施計画書と同意説明文書の変更ならびに「生存についての追跡調査期間中の  
再同意取得について」に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議  
した。

・判定：承認

※会議の成立要件を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑧研究名：ファイザー㈱の依頼による ARCHER1009:1 レジメン以上の化学療法歴を有する  
進行非小細胞肺癌を対象とした PF-00299804 (DACOMITINIB)とエルロチニブの  
有効性及び安全性を比較検討する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験

・審議内容：治験薬概要書の変更と「Protocol Administrative Changes and Clarifications for  
Study A7471009 (ARCHER1009) (12Sep2012)」に基づき、引き続き治験を実施す  
ることの妥当性について審議した。

・判定：承認

⑨研究名：中外製薬㈱の依頼による肺癌患者を対象とした PRO143966 の第Ⅲ相試験

・審議内容：治験実施計画書国内追加事項の変更と症例報告書見本の変更に基づき、引き続き治  
験を実施することの妥当性について審議した。

・判定：承認

⑩研究名：㈱ヤクルト本社の依頼による胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験

・審議内容：治験実施計画書の変更と説明・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を実施す  
ることの妥当性について審議した。

・判定：承認

⑪研究名：大鵬薬品工業㈱の依頼による S-1 の子宮頸癌に対する第Ⅲ相比較試験

- ・ 審議内容：治験実施計画書別紙の変更（治験期間の延長を含む）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑫ 研究名：ステージⅢ - Ⅳ期の卵巣明細胞腺癌を対象としたファーストライン治療としてのテムシロリムス+カルボプラチン+パクリタキセルの併用療法に続くテムシロリムスの維持療法による第Ⅱ相臨床試験

- ・ 審議内容：治験実施計画書、Appendix for Japanese Institutions 別紙および説明・同意文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑬ 研究名：ステージⅢ - Ⅳ期の卵巣明細胞腺癌を対象としたファーストライン治療としてのテムシロリムス+カルボプラチン+パクリタキセルの併用療法に続くテムシロリムスの維持療法による第Ⅱ相臨床試験

- ・ 審議内容：平成 25 年度も継続したい旨の申請が実施状況報告書とともに提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

⑭ 研究名：食道癌化学放射線療法後の局所遺残再発例に対する ME2906 および PNL6405EPG を用いた光線力学的療法の多施設共同臨床第Ⅱ相試験

- ・ 審議内容：モニタリング報告書（2012.12.13）に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

- ・ 判定：承認

## （2）安全性に関する情報の報告

① 研究名：サノフィ(株)の依頼による進行固形がん患者を対象とした AVE8062 の 3 剤併用第Ⅰ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 19 日」

② 研究名：ファイザー(株)の依頼による PF-04691502, PF-05212384 の第Ⅱ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 3 日」「平成 24 年 12 月 13 日」

③ 研究名：メルクセローノ(株)の依頼による EMD531444 の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 18 日」

④ 研究名：ファイザー株の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ (ALK) 遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌 (NSCLC)患者を対象として PF-02341066 を投与した場合の有効性と安全性を評価する非盲検、単群、第Ⅱ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 4 日」「平成 24 年 12 月 14 日」

※会議の成立要員を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑤研究名：ファイザー株の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ（ALK）遺伝子座に転座または逆位がある進行非小細胞肺癌（NSCLC）患者を対象として PF-02341066 と標準的化学療法剤（ペメトレキセドまたはドセタキセル）を比較し、その有効性と安全性を評価する無作為化、非盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 4 日」「平成 24 年 12 月 14 日」

※会議の成立要員を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑥研究名：ファイザー株の依頼による未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)遺伝子座に転座または逆位を有する肺癌における未治療の非扁平上皮癌患者を対象として CRIZOTINIB とペメトレキセド/シスプラチンまたはペメトレキセド/カルボプラチンを比較し、その有効性と安全性を評価する無作為化、非盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 4 日」「平成 24 年 12 月 14 日」

※会議の成立要員を満たしていないことが判明したため再度審議することとなった。

⑦研究名：中外製薬㈱の依頼による EGFR 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌患者に対する一次療法としてのベバシズマブ+Ro50-8231(エルロチニブ)併用療法と Ro50-8231 単剤療法を比較する非盲検無作為化比較第Ⅱ相臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 25 日」

⑧研究名：ファイザー株の依頼による ARCHER1009:1 レジメン以上の化学療法歴を有する進行非小細胞肺癌を対象とした PF-00299804 (DACOMITINIB)とエルロチニブの有効性および安全性を比較検討する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 19 日」

⑨研究名：エーザイ㈱の依頼による進行非小細胞肺癌患者を対象としたエリブリンと主治医選択治療の有効性及び安全性を比較する多施設共同の無作為化オープン第 3 相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 26 日」

⑩研究名：中外製薬㈱の依頼によるベバシズマブとプラチナ併用化学療法後に増悪を来した非小細胞肺癌(扁平上皮癌を除く)を対象とした標準治療+/-ベバシズマブ併用治療の有効性及び安全性を比較する非盲検ランダム化第Ⅲ相製造販売後臨床試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 27 日」

⑪研究名：日本イーライリリー㈱の依頼による第Ⅱ相試験

安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 26 日」

- ⑫研究名：中外製薬㈱の依頼による肺癌患者を対象とした PRO143966 の第Ⅲ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 27 日」
- ⑬研究名：日本イーライリリー㈱の依頼による LY3009806 の第Ⅱ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 11 日」「平成 24 年 12 月 20 日」
- ⑭研究名：グラクソ・スミスクライン㈱の依頼による切除可能な MAGE-A3 抗原陽性の非小細胞肺癌患者を対象とした術後補助療法としての AS15 アジュバント添加 recMAGE-A3 がん免疫療法剤の有効性を評価するための、二重盲検、無作為化、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 10 日」
- ⑮研究名：第一三共㈱の依頼による早期乳癌患者を対象としたデノスマブの第Ⅲ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 10 日」「平成 24 年 12 月 21 日」
- ⑯研究名：中外製薬㈱の依頼による RG3502 の HER2 陽性の局所進行・再発又は転移性乳癌患者を対象とした第Ⅱ相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 28 日」
- ⑰研究名：中外製薬㈱の依頼による HER2 陽性の進行性/再発性の局所進行乳癌又は転移性乳癌 (MBC) の一次治療としての T-DM1 とペルツズマブの併用又は T-DM1 とペルツズマブのプラセボ(ペルツズマブに対し盲検)の併用の有効性及び安全性をトラスツズマブとタキサン系の薬剤の併用と比較する多施設共同第Ⅲ相ランダム化 3 群比較試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 28 日」
- ⑱研究名：㈱ヤクルト本社の依頼による胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 7 日」
- ⑲研究名：ステージⅢ - Ⅳ期の卵巣明細胞腺癌を対象としたファーストライン治療としての テムシロリスム+カルボプラチン+パクリタキセルの併用療法に続くテムシロリスムの維持療法による第Ⅱ相臨床試験  
安全性に関する情報の報告書「平成 24 年 12 月 28 日」
- ※研究名：協和発酵キリン㈱の依頼による進行又は転移性の非小細胞肺癌患者を対象とした ARQ197 とエルロチニブの併用第Ⅲ相臨床試験  
前回、2012 年 10 月 30 日に試験の中止を決定したとあるのに、『安全性情報等に関する報告書』(2012/11/19 日付、2012/11/28 日付)で治験の継続を可としていることについて、委員長より説明が求められた。今回、その経緯を追記した『安全性情報等に関する報告書』が治験依頼者より新たに提出された報告があった。

以上の安全性に関する情報が提出され、治験の継続実施の妥当性について特に異議なく、それぞれ承認された。